

学習内容報告書 フォーマット

学校名	浜松市立三ヶ日中学校
授業者	岡田 充弘、中村 綱太

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

20年後の三ヶ日の活性化を目指して

1-2. 学年

全学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

本校の総合的な学習は、中学1年生では、これらの自然資源、産業活動、街並み、そこに暮らし集う人々、地域に根付く歴史と文化などの地域資源を調べ、これまで以上に三ヶ日町を知る活動を行っている。2、3年生になるとこれら三ヶ日町の学習材を生かして、より良い生活の場の創造と地域活性化、観光振興、湖水環境問題改善などについて探究させる活動を設定し、三ヶ日町全体を学習フィールドとしてとらえ、三ヶ日町の課題を見つめ、より良い三ヶ日町にするための学習活動へと学習の幅を広げている。

20年後により良い三ヶ日町にするために自分たちに何ができるか考え、課題設定させている。現在は、環境、特産物、観光の3つのカテゴリーに分かれた9つのチームが活動している。

環境のカテゴリーでは、「アサリの養殖（チームA&k）」「アマモの養殖（チームアマ浄）」「みかんの草生栽培（チームI S J）」が猪鼻湖の水質浄化に関する探究活動に取り組んでいる。今回の取り組みでは、A&k、アマ浄に特化して、水質浄化に関する活動を進めた。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

これらの活動を通して、解決の道筋がすぐには明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題について、自らの知識や技能等を総合的に働かせて課題を解決する力を育むことで、未来において、新たな課題に直面した際に、そこにある環境や、人材、ネットワークを活用し、より良い解決策を見いだし、自らが社会を創造していく1人である自覚と責任をもち、社会に参画していく生徒を育成したい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

総合的な学習の時間の中で、各教科等における見方・考え方を総合的に働かせながら、ダイナミックな学習活動を行うことで、自ら課題を見つけ、よりよく課題を解決する資質・能力を育み、自ら社会に関わり参画しようとする意志、社会を創造する主体としての自覚が育成されることを期待している。

1-7. 単元の展開（全70時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導（☆） / 主な評価（○） 外部連携（※） / 使用教材等
2	◎総合的な学習の時間ガイダンス ・活動方針確認 ・活動計画立案	☆1年間の活動の方向性について、昨年度までの取り組みを参考に説明する。 ☆生徒の思いを把握した上で、年間の活動計画を決定する。 ○自ら課題を見つけ、主体的に活動計画を考えることができる。
52	◎探究活動 ・アサリの生育状況観察 ・講師による鉄デバイスの講義 ・アマモの校内での育成 ・講師によるアマモの講義	☆年間計画に基づき、探究活動が進められるようにチーム代表生徒と相談の上、活動を実施する。 ☆毎時間の活動の振り返りを確実にを行う中で、今後の活動について見通しをもたせる。 ※各講師と連絡調整を図り、講義日時、内容などについて確認し、実施する。年間を通した活動を説明する中で、支援していただきたい内容を依頼する。 ○探究活動に意欲的に取り組むことができる。 ○探究活動や講師の講義を通じて、新たな課題を把握し、解決に向けて見通しをもって活動することができる。
10	◎三中祭（総合的な学習の時間発表会）に向けた準備 ・今までの活動のまとめ ・発表用のプレゼン作成 ・活動紹介のためのポスター作製 ・発表練習	☆1年間の活動を振り返らせる中で、発表内容、方法について説明する。 ☆聴いている生徒にとって分かりやすい発表となるための方法について助言する。 ○わかりやすい発表となるための工夫ができる。 ○活動のまとめを通じて、1年間の活動を振り返り、今後の生活に生かそうとする。
4	◎三中祭（総合的な学習の時間発表会） ・グループ別による発表 ・講師による助言指導	☆グループ別発表が円滑に行われるように、内容や方法について説明する。 ※発表を講師に聴いてもらい、感想だけでなく、今後の取り組みや生活に向けたアドバイスをさせていただくよう依頼する。 ○活動内容をわかりやすく発表できる。
2	◎年間の振り返り ・1年間の活動反省（成果と課題） ・来期に向けた計画	☆1年間の活動のまとめを発表会を参考にまとめるよう指示する。 ☆3年生は、後輩に向けて助言必要であると伝える。 ○成果と課題、今後の計画等について、自分の言葉でまとめることができる。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・ 1 年間の活動についてまとめたことをわかりやすく聴いている人に伝えることができる。
- ・ まとめた中で得た成果と課題や講師による指導助言から、今後の活動について考えることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○今日の発表会の日程について確認する。</p> <p>①チーム発表</p> <p>②質疑応答</p> <p>③話し合い</p> <p>○活動内容について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パワーポイントなどの資料を使って、発表する。 ・ 班内で役割分担をして、効率よく発表する。 <p>○発表に関する質疑応答をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問や意見を聞き、必要に応じて答える。 <p>○講師の話を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の発表、今までの活動について、講師から指導助言をしていただく。 ・ 話を聴いた上で、質問事項などがあればする。 	<p>☆チーム内で3班に分かれ、それぞれが発表することを伝える。発表しない班は、他のチームの発表を聴いた上で、積極的に意見や質問をするように伝える。</p> <p>☆発表が円滑に進むように助言する。</p> <p>※聴いている生徒にとって分かりやすく発表することができる。</p> <p>☆すぐに答えられない内容については、即答は控え、後日改めて伝えることを確認する。</p> <p>☆進行状況により、講師の方に話してもらう時間をあらかじめ伝えておく。</p> <p>○発表を通じて、1年間の活動を振り返り、今後の生活に生かそうとする。</p>

3. 今回の活動の自己評価

<探究活動後の生徒の自己評価（概要）>

- ・20年後の猪鼻湖をきれいにするための方法を考えることができた。
- ・猪鼻湖をアサリが住める環境にするために、実験を行うことができた。
- ・どんどん人口が減っていく、過疎化が進んでいくこの三ヶ日町に少しでも未来の明るい光がさしこむように未来の三ヶ日がより良くなるためだという思いが活動を通じて感じられた。
- ・自分たちで考え、それを実行するという大人になってからも必要になる力を身に付けたり、難しいテーマに向き合い諦めず長期間に渡って活動をし続ける事のできる力を身に付けるためという目的を活動を通じて改めて感じる事ができた、
- ・地域の復興に自ら進んで行動することの大切さを実感した。
- ・自分たちが住んでいる周りの環境をより良くする必要性を感じた。

4. 今後の課題

<活動を通じた生徒の課題>

- ・アサリが住んでいる湖と猪鼻湖の湖を比べて何が違うのか調べる。
- ・アサリの天敵の数を減らす活動 アサリを飼う活動（鉄デバイス）。
- ・鉄デバイスでのアサリの具体的な復活計画。
- ・自分たちで種を取り、アマモは本当に水をきれいにしてくれるのか実験する。
- ・色々なアマモを研究している人の話を聞く必要がある。
- ・ノートでも買って、今まで起こったことをまとめて次の代に引き継いだときに情報や目標、何をしてほしい何を続けてほしいかなどを効率的に広げることが大切。
- ・アマモを水槽で育ててしまうと、海と環境が違いすぎてしまうので水槽は発芽したばかりのアマモを成長させるために使って、成長したアマモは、海に似た環境で育てるのがいい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。